

(実施要綱様式第1号／育成支援型)

2023年度 福岡バイオ産業創出事業提案書

提案区分 【 育成支援型 】

2023年4月22日

株式会社久留米リサーチ・パーク
代表取締役社長 田中 達也 殿

提案事業者名 株式会社〇〇〇
代表者職・氏名 代表取締役 〇〇 〇〇印

福岡バイオ産業創出事業実施要綱第8条の規定に基づき、2023年度福岡バイオ産業創出事業の育成支援型に提案します。

記

1. 研究開発テーマ名

「ここにテーマ名を記入してください」

2. 事業の目的及び内容

別紙（様式第1号－2～8）のとおり

3. 事業費総額及び受託申請額（税込で記載ください。）

2023年度の事業費総額 6,000,000 円

2023年度の受託申請額 4,000,000 円（事業費総額の2/3以内）

4. 共同研究者

〇〇大学 〇〇学部
株式会社〇〇〇〇

共同研究機関がない場合は、
記載は不要です。

※個人で提案される方は、提案企業名欄に「個人」と記載し、代表者職氏名欄に氏名を記載する。

※採択された場合、提案者名及び共同研究者名は、採択発表等の際に公開の対象とする。

(様式第1号-2)

事業総括表

研究開発 テーマ名(注1)	DNA新規解析技術の開発			
研究開発の要約 (注1)	※研究開発の目的、内容の概要等を120字以内で記載する。			
研究開発の目的				
研究開発の概要				
事業受託希望 期間	2023年 6月 1日 ~ 2025年 2月28日 ※育成支援型の受託希望期間は2年以内とする。			
研究開発に 係る事業費 (単位:千円)	年 度	2023年度	2024年度	計
	総 額	6,000千円	6,000千円	12,000千円
	受託申請額 (総額の2/3以内)	4,000千円	4,000千円	8,000千円
研究開発の 実施場所	※主要な研究場所を記載、複数可 株式会社〇〇〇、〇〇大学			
事業統括責任者	(氏名) 〇〇 〇〇 (所属 職名) 〇〇部 部長 (連絡先) 〒: 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇市〇〇〇番〇〇号 TEL: 09〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX: 09〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail: 〇〇〇@〇〇〇〇.co.jp			
他の助成の状況	※当該実施テーマに関連して、他の助成を受けた実績、あるいは申請中のものがあれば、その名称、期間、予算を記載する。			

(注1) 採択された場合、「研究開発テーマ名」「研究開発の要約」は採択発表等の際に公開の対象とする。

※「研究開発に係る事業費」の「総額」には、当該年度の開発全体に要する費用の総額を記入し、「受託希望額」には当該年度の受託希望額を記載する。※総括表の用紙はA4縦位置とし2枚以内にまとめる。

(様式第1号-3)

事業化計画	
研究開発する製品 又はサービス等	DNA解析において〇〇を利用して高速、簡易的に解析 できる新規技術を利用した受託サービス。
<p>1. 研究開発を行う製品の内容</p> <p>①製品化する企業名 製品化する企業：株式会社〇〇〇〇 製品化する技術：〇〇を利用して高速にかつ簡易的にDNAを解析できる新規技術 および新規サービスの実用化</p> <p>②製品化の時期 2025年10月</p> <p>③想定ユーザー及び用途 想定ユーザー：各大学、研究機関および一般企業 用途：研究業務で発生するDNA解析を迅速・安価に提供できる受託サービス</p> <p>2. 開発製品に関する市場性・市場規模・獲得シェア</p> <p>①開発製品に関する市場性・市場規模 現在の市場分析と市場規模を記載して、開発、実用化を目指す新規製品またはサービス に関する需要予測等を記載してください。</p> <p>②目指す獲得シェア 上記市場性、市場規模の分析を基に開発、実用化を目指す新規製品またはサービスで 目指す獲得シェアの目標値を根拠と共に記載してください。</p>	

3. 研究開発スケジュール

①本事業内での開発スケジュール

2023年6月～2023年12月

DNA新規解析技術の開発、高速化装置の設計、開発

開発する新規解析技術についての知財化検討および関連技術の調査

2024年1月～ 高速化装置の試作機を使用して〇〇大学と共同でサンプル解析を開始する。

2024年4月～ 高速化装置の改良、自社でのサンプル解析を開始する。

2024年10月～ 高速化装置を使用して開発した新規分析手法でのサンプル解析を開始する。

②本事業終了後の開発スケジュール

※本事業内で開発が完了する予定の場合は、項目を削除してください。

2025年4月～ 新規解析技術の知財化（特許出願）

2025年5月～ 新規分析法の実検体での測定と最適化

4. 製品化スケジュールと販売計画

①製品化スケジュール

※研究開発終了後のスケジュールを記載してください。

2025年8月～ 新規分析法の受託マニュアル作成

2025年10月～ 新規分析法の受託サービス開始

②販売計画

※製品化後3年間の販売計画を記載してください。

販売開始からの営業計画を記載してください。

2025年度売り上げ目標 〇〇万円

2026年度売り上げ目標 〇〇万円

2027年度売り上げ目標 〇〇万円

5. 県内の産業や事業化への寄与

開発製品およびサービスが、自社事業だけでなく他社の事業や産業界へ、どのように寄与するのかを記載してください。

※事業化計画の用紙はA4版縦位置とし4枚以内にまとめる。

実用化に向けた研究開発かどうか審査します

(様式第1号-4)

提 案 者 概 要

企 業 名	株式会社□□□□□			
代表者職氏名	代表取締役 ○○ ○○			
所 在 地	〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 09○-○○○-○○○○ FAX: 09○-○○○-○○○○			
研究開発の主な 実施場所(施設)	〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 09○-○○○-○○○○ FAX: 09○-○○○-○○○○			
資 本 金	○○,000,000 円			
従 業 員 数	全社 ○○名 実施事業所 ○○名			
事 業 内 容	分析機器の代理店販売、メンテナンス、各種成分分析の受託など			
企 業 の 沿 革	平成 元年 6月 当社設立 平成 元年 6月 設立登記 平成 2年10月 自社開発製品として「○○○」を開発、発売 平成13年 4月 本社ビル竣工 平成14年 3月 ○○社と技術提携 平成15年 4月 資本金を○○○○万円に増資			
業 績 ※過去 2期分	期 別	売 上 高	当期純利益	利益剰余金
	2021年3月期	○○○千円	○○○千円	○○○千円
	2022年3月期	○○○千円	○○○千円	○○○千円
保 有 設 備	高速液体クロマトグラフ、恒温インキュベーター、クリーンベンチ等			
研究開発統括 責 任 者	(氏名) ○○ ○○ (所属 職名) ○○部○○課長 (連絡先) TEL:09○-○○○-○○○○ FAX:09○-○○○-○○○○ E-mail: ○○○@○○○○.co.jp			
研究開発担当者	○○部 ○○課 主任研究員 ○○ ○○ ○○部 ○○課 研究員 ○○ ○○			
経 理 担 当 者	(氏名) ○○ ○○ (所属 職名) ○○部○○課 課長 (連絡先) 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL:09○-○○○-○○○○ FAX:09○-○○○-○○○○ E-mail: ○○○@○○○○.co.jp			
添 付 資 料	※会社案内パンフレット等を添付する。			

※提案者概要の用紙はA4版縦位置とし、1枚にまとめる。

(様式第1号-5)

共同研究機関の概要（企業用）

企 業 名	株式会社□□□□□			
代表者職氏名	代表取締役社長 ○○ ○○			
所 在 地	〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 09○-○○○-○○○○ FAX: 09○-○○○-○○○○			
共同研究の実施 場所（施設）	〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL: 09○-○○○-○○○○ FAX: 09○-○○○-○○○○			
資 本 金	○○,000,000 円			
従 業 員 数	全社 ○○名 実施事業所 ○○名			
事 業 内 容	科学分析装置の設計、製造、			
企 業 の 沿 革	平成 元年 6月 当社設立 平成 元年 6月 登記 平成 2年10月 自社開発製品として「○○○」を開発、発売 平成10年 4月 営業所を○○県○○市に開設 平成15年 3月 本社を○○市に移転、自社ビルオープン			
業 績	期 別	売 上 高	当期純利益	利益剰余金
※過去	2021年 月期	○○○千円	○○○千円	○○○千円
2期分	2022年 月期	○○○千円	○○○千円	○○○千円
共同研究責任者	(氏名) ○○ ○○ (所属 職名) ○○部 ○○課長 (連絡先) TEL: 09○-○○○-○○○○FAX: 09○-○○○-○○○○ E-mail: ○○○@○○○○.co.jp			
研 究 担 当 者	○○部 ○○課 研究員 ○○ ○○ ○○部 ○○課 研究員 ○○ ○○			
添 付 資 料	※会社案内パンフレット等を添付する。			

※共同研究機関の概要の用紙はA4版縦位置とし、1枚にまとめる。

※共同研究（企業用）が無い場合は、表全体を斜線で処理する。

(様式第1号-6)

共同研究機関の概要 (大学・公的試験研究機関等用)

大 学 等 名	△△△△大学
代表者職氏名	学長 ○○ ○○
所 在 地	〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL:09○-○○○-○○○○ FAX:09○-○○○-○○○○
共同研究の 実施部署	○○学部○○学科 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL:09○-○○○-○○○○ FAX:09○-○○○-○○○○
共同研究責任者	(所属 職名) ○○学部 教授 (氏名) ○○ ○○ (連絡先) 〒:○○○-○○○○ ○○○市○○○番○○号 TEL:09○-○○○-○○○○ FAX:09○-○○○-○○○○ E-mail: ○○○@○○○○.ac.jp
研究担当者	○○学部 助教 ○○ ○○
研究分野と 主な研究実績	例) ○○学部 教授 ○○ ○○ 分子生物学 DNA分析・解析が主な研究分野。特に生体内での○○DNA○○の新規機能について解明した。DNA分析・解析で、新規医薬開発や他分野への応用について研究中。 例) ○○学部 助教 ○○ ○○ 細胞生物学 DNA細胞の機能発現と制御機構について研究している。最近、DNAの新規機能について○○教授とともに解明した。細胞内での選別輸送などについても研究している。
添 付 資 料	※大学の案内パンフレット等を添付する。

※共同研究機関の概要の用紙はA4縦位置とし、1枚にまとめる。

※共同研究(大学・公的試験研究機関等用)が無い場合は、表全体を斜線で処理する。

※大学・公的試験研究機関の案内はホームページを印刷したものでも可。

(様式第1号-7)

事業費収支予算書

自己資金は合計から受託事業費を差引いた額を記載する。

◇収入の部

税込(単位:円)

区分	2023年度予算額	2024年度予算額	備考
自己資金	2,000,000	2,000,000	
借入金等	0	0	
受託事業費	4,000,000	4,000,000	受託申請額(税込)を記入する
合計	6,000,000	6,000,000	

2022年度予算額の内訳を記載する。単位は円

◇支出の部

単位:円)

区分	2023年度予算額	2024年度予算額	備考
機械装置・備品購入費	500,000	750,000	機械装置名・単価記載
人件費	1,150,000	1,925,000	研究員○○○○ 人件費
原材料費・消耗品費	1,800,000	1,800,000	主な品名を記載
旅費	50,000	25,000	主な出張先を記載
外注費	1,000,000		委託内容・委託先を記載
共同研究等の経費	1,500,000	1,000,000	共同研究先名を記載
知的財産権の出願等の経費		500,000	知的財産権を支出する場合の経費を記載
その他の経費			経費内容を記載
合計	6,000,000	6,000,000	

※支出と収入の合計額は、一致する。

※収支予算書の用紙はA4縦位置とし、1枚にまとめる。

(様式第1号-8)

事業内容説明書

※事業内容説明書の用紙はA4版縦位置とし、項目1(研究開発テーマ名)～項目4(本個別事業により期待される効果)は10枚以内にまとめる。

1. 研究開発テーマ名

「研究開発テーマ名を記載する。」

2. 研究開発の内容

※研究開発の内容の(1)研究開発目標～(4)研究開発スケジュールについては、A4で2枚以上4枚程度にまとめる。

(1) 研究開発の目標 (目標の明確さ、実現可能性を審査します)

※研究開発の最終目標を記載。最終的な製品、技術について、必ず数値を用いて具体的に記載する。

【個別事業終了後目標】

〇〇を利用して高速にかつ簡易的にDNAを解析できる新規技術および新規サービスの実用化を行う。

※本年度の研究開発の目標を記載。必ず数値を用いて具体的に記載する。

【本年度の目標】

DNA新規解析技術の開発、高速化装置の設計、開発を行い、高速化装置の第一弾試作機の設計を年内に終え、試作機を年度内に完成させる。

(2) 研究開発の具体的な内容 (方法・遂行能力を審査します)

※実施する内容について、次の項目について記載する。

項目は3項目記載していますが、必要に応じて、追加・削除してご記入ください。

1) サブテーマ1 (サブテーマ名を記載してください。)

- ①実施内容(どのような設備を使用し、どのような方法で何を行うのか)
- ②目標(できるだけ数値等をあげる)
- ③研究開発担当機関・担当者名

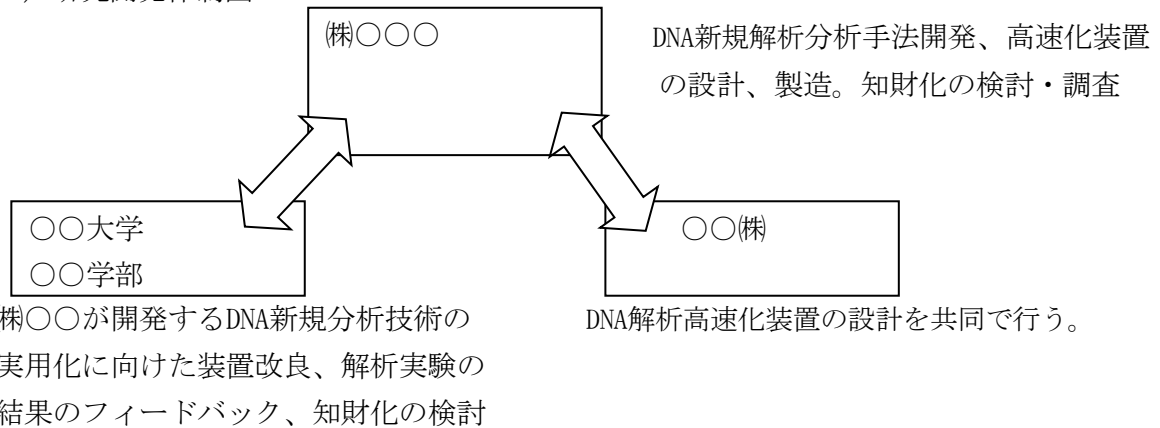
2) サブテーマ2 (サブテーマ名を記載してください。)

- ①実施内容(どのような設備を使用し、どのような方法で何を行うのか)
- ②目標(できるだけ数値等をあげる)
- ③研究開発担当機関・担当者名

3) サブテーマ3 (サブテーマ名を記載してください。)

- ①実施内容(どのような設備を使用し、どのような方法で何を行うのか)
- ②目標(できるだけ数値等をあげる)
- ③研究開発担当機関・担当者名

(3) 研究開発体制図



(4) 研究開発スケジュール

※実施項目の日程を——で記載する。

※他の実施項目の結果に基づき実施する項目については、それらの関係を………✕明示する。

※研究開発の進捗管理を行うためのチェックポイントを表中に a、b、c等で明示し、表の下にそのチェック内容を記載する。

2023年度（初年度）

サブテーマ名	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
DNA新規解析技術の開発	a	——							
DNA解析高速化装置の設計、製造			b	——					
DNA新規解析技術の知財化調査			c	——					

(チェックポイント)

※各チェックポイントのチェック内容を、数値等をあげて簡潔かつ具体的に記載する。

- a DNA 新規解析技術の検討（〇〇大学との共同研究）
- b DNA 解析高速化装置の設計、製造（〇〇(株)との共同開発開始）
- c DNA新規解析技術の知財化調査（〇〇大学との共同で調査）

2024年度（次年度）

サブテーマ名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
DNA新規解析技術の開発	——					d					
DNA解析高速化装置の設計、製造	——				e						
DNA新規解析のサンプル分析開始					f		——				
DNA新規解析技術の知財化調査								——			g

(チェックポイント)

※各チェックポイントのチェック内容を、数値等をあげて簡潔かつ具体的に記載する。

- d: DNA新規解析技術の開発検討終了 e: DNA解析高速化装置の設計、製造終了
- f: 開発した高速化装置（デモ機）を用いてDNA新規解析のサンプル分析開始
- g: 知財調査終了および出願書類作成

(5) 研究開発の新規性、競争優位性 (新規性、研究開発要素の有無を審査します)

- ※当該技術の背景、新規性、既存技術に対する競争優位性について記載する。
- ※実施しようとする研究開発を取り巻く産業や技術の現状について記載する。
- ※類似の既存技術又は製品の性能や用途、技術的及び経済的な問題について記載する。
- ※研究開発により、類似の既存技術又は製品の欠陥をどのように改善できるか等について、具体的に記載する。

(6) 研究開発の権利化の見通し (事前調査、基礎研究について審査します)

- ※類似の研究開発について、他企業、大学等の研究開発及び知的財産権の動向と当該研究開発の関連について記載する。

(7) 基礎となる技術及び研究（導入技術を含む）

(事前調査、基礎研究について審査します)

※研究開発テーマごとに、次の項目について記載する。

- 1) 題目（技術又は研究）
 - ①主要担当者
 - ②研究内容と成果（具体的に記載）
- 2) 題目（技術又は研究）
 - ①主要担当者
 - ②研究内容と成果（具体的に記載）

※特に、特許の出願、取得等について成果を記載する。

※特許については、名称、出願番号、又は取得年月日も記載する。

3. 事業化ロードマップ

※事業化計画を基にロードマップを作成してください。

▲：成果評価 ◎：国内特許出願 ◇：海外特許出願 ■：マイルストーン

	2023年度	2024年度	事業終了後以降
DNA新規解析技術の開発	<p>技術開発1</p> <p>○の要素技術確立</p>	<p>技術開発2</p> <p>実証試験・フィードバック</p>	
DNA解析高速化装置の設計、製造	<p>△△の開発</p> <p>写真、図面等(試作装置)</p>		<p>試作機改良、製品化 市場調査、他社の動向調査</p>
DNA新規解析技術の知財化調査	<p>先行技術調査</p> <p>関連特許調査</p>	<p>◎</p> <p>DNA解析技術の知的財産権出願</p>	

4. 事業化に伴う課題とその対応策

※新規事業開始後のリスク、その対応策及び資金調達、事業提携計画等を記載する。

5. 本個別事業により期待される効果

※経済的効果、バイオテクノロジー関連産業に及ぼす波及効果について、具体的に記載する。

※県内産業への経済的・技術的波及効果についても記載する。

6. 他の助成制度への提案及び実績

(1) 他の助成制度への提案

※他の助成制度へ当該テーマ又は類似テーマの提案を行っている場合は記載する。

※該当しない場合は、表全体を斜線で処理する。

(1)実施者及び構成 メンバー、エフォート		%
(2)制度の所管		
(3)制度名		
(4)課題名		
(5)助成期間、金額	(単位：千円)	
(6)実施状況		
(7)本提案との関連性		

(2) 過去における実績

※過去3年間に終了した助成事業等を記載する。

※該当する助成事業が多い場合は、表を追加しての記載可。

※該当しない場合は、表全体を斜線で処理する。

(1)実施者及び構成メンバー	
(2)制度の所管	
(3)制度名	
(4)課題名	
(5)助成期間、金額	(単位：千円)
(6)本提案との関連性	

7. 研究開発内容の概要（ポンチ絵）

※研究開発の目的、内容の概要、事業化等をA4版縦1枚にまとめて図示する。

